

# あのね、保育の根 No.14

～えんちょうのおたより～



## ～まずはご挨拶から～

新しい年度が始まり、1ヵ月が経とうとしています。こどもたちも少しずつ新しい先生や環境に慣れてきてくれているのかな?!と感じています。

今年度より、園長として務めさせていただきます。内田 健一と申します。前任の皆さんのアイドル直也先生は大学の専任へ…事務のプロフェッショナル翼先生は本部への移動…となり、只今事務作業に奮闘しております。しかし、私の本職は保育人です!!今までと変わらずに、保育の現場に目を向け、こどもたちを中心に置きながら保育を作っていきたいと思ひます。

僭越ながら、これから目指す園の未来予想図を書かせていただきます。

## ～こどもの経験の物語～

1つ目は「こどもの経験の物語」です。こどもたち一人ひとりが日々の遊びや生活の中で描いていく「経験の物語」を大切にしていきます。「やってみたい」「おもしろそう」という気持ちから始まる小さな一歩や、うまくいかない中での気づき、友だちとの関わりの中で生まれるさまざまな思いその一つひとつが、その子だけの大切な物語です。

私たちは、その歩みに寄り添いながら、一人ひとりの感じ方や考え方を理解し、その子らしさが自然に育まれていくよう関わっていきます。そして、こどもたちの姿に寄り添いながら、おとなも一緒に楽しむ気持ちを大切に、その育ちをともに楽しんでいけたらと思ひます。さまざまな経験の積み重ねが、自分らしくのびのびと育っていく力につながっていくことを願っています。

## ～ともに育てる～

2つ目は「ともに育てる」です。こどもたちは、園とご家庭、そして周囲の人との関わりの中で育っていくと考えます。日々の送迎時の会話や連絡帳でのやりとりなど、一つひとつの関わりを大切にしながら、おこさまの姿や思いを丁寧に共有していければと思ひます。うれしかったことや成長した姿をともに喜び合うだけではなく、悩みや気になることについても気軽に話し合える関係を築いていきたいと思ひます。

子育ての中で感じるさまざまな思いに寄り添いながら、安心してつながり合える関係を大切に、ご家庭とともにこどもたちの育ちを支えていければと思ひます。

## ～透明性のある園運営～

3つ目は「透明性のある園運営」です。園でのこどもたちの姿や日々の取り組み、保育のねらいなどを、できるだけ分かりやすく丁寧に伝えていきたいと思ひます。「あのね、保育の根」のおたよりや各クラスのエピソード配信、日々の会話などを通して小さな成長やその時々への気づきを共有し、ご家庭でもおこさまの姿をより身近に感じてもらえたらと思ひます。

また、日々の保育の意図についてもお伝えすることや保育参加の中で一緒に関わっていただく中で、園での取り組みへの理解を深めてもらえるように努めていきます。あわせて、保護者の皆様からのご意見やご相談にも真摯に耳を傾けながら、信頼関係を大切にし、安心しておこさまを預けていただける園運営を築いていきます。

## ～帰ってくるとほっとする場所～

最後は「帰ってくるとほっとする場所」です。地域の方々とのあたたかなつながりの中で、こどもたちは多くの出会いや学びを得ていきます。日常の中での挨拶やさりげない関わりを大切にしながら、人とのつながりのあたたかさを感じられる環境づくりを心がけていきます。また、園が地域にとって身近で安心できる場所となるよう、開かれた雰囲気づくりを大切にしていきたいと思ひます。

保護者の皆様や地域の方々にとっても、「ここに来るとほっとする」「また帰ってきたい」と思っていたらいいような、あたたかく親しみのある園を目指しながら、こどもたちが見守られ、支えられて育っていく環境づくりを進めていきたいと思ひます。

## ～おわりに～

今年度も『あのね、保育の根』を連載していきたいと思ひます。ちょっとした時間に目を通していただけたら幸いです。至らない点も多々あるかと思ひますが、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。